

言語 A : 文学

上級レベル・標準レベル

試験見本

試験問題1、2

2011年 第1回試験

目次

言語 A : 文学 上級レベル 試験問題 1 試験見本

言語 A : 文学 上級レベル 試験問題 1 マーキングノート

言語 A : 文学 上級レベル 試験問題 2 試験見本

言語 A : 文学 標準レベル 試験問題 1 試験見本

言語 A : 文学 標準レベル 試験問題 1 マーキングノート

言語 A : 文学 標準レベル 試験問題 2 試験見本

Japanese A: literature – Higher level – Paper 1
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 1
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 1

Specimen paper

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write a literary commentary on one passage only.
- The maximum mark for this examination paper is **[20 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez un commentaire littéraire sur un seul des passages.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[20 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un comentario literario sobre un solo pasaje.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[20 puntos]**.

批評家の機能がどういふものかについては、いろいろなことが言えるでせう。しかしちばん基本的な部分としては、読者の代表、ないし、優れた読者といふ部分をあげなければならない。そういふ局面を持たない批評家は存在しないわけです。ですから今ぼくが言った、読者の協力といふことを批評について見れば、作品は批評家の協

35 力を得てはじめて完成するといふことになる。これは冷静に事態を判断すれば、何でもなし、ごく当たり前の話です。ぼくが自分の作品について自信がないわけでは決してありません。白い紙に黒いインキで字が印刷してあるだけでは、それは文学ではないといふ、ただそれだけのことを指摘しているにすぎない。

その点、文学作品にとつての読者といふものは、音楽の場合の演奏家に当たると述べることもできるのでせうし、この見立てはぼくの批評論にとつて非常に都合がいい。批評家は演奏家でなければならないとぼくは言ひたいのです。

40

この文章のはじめで、批評家に読み違へられたことはないと書きましたが、それはたしかにその通りだけれど、批評がもし演奏であるとするれば、上手な演奏、下手な演奏といふことはもちろんある。(断つておきますが、褒められたから上手、けなされたから下手といふやうな低級な話をしているのではありません。)

45

それからまた、いちおう整つてはいるけれども、いかにも生氣のない、個性を欠いた、凡庸な演奏といふやうなものもありますね。先生そつくり^ひに奏くせいともいる。さらに、先生の渋い感じや古風なよさを真似ようとして必死に勉強したあげく、かはいそ

50 うに先生以上に古めかしくなつてしまつた若者もいる。(中略)

ですから作家は、すくなくともぼくは、自作の批評を読んで、じつに鋭い解釈だし巧みな技巧だと感心したり、ピアノシモがすばらしくきれいだとつぶやいたり、ちえ

55 つ、ちつとも指が動いてないぢやないかと舌打ちしたりするわけです。いろいろな演奏家がいる以上、これは当たり前のことでせう。

それから、言ひ添へておきますけど、たしかにあの作品のあそこはよく書けてなかつたからあんなふう^ひに奏かれても仕方がないと思ふこともある。これも当然の事^ひでせう。出来ばえのいい小説ばかり書いていると思ふほど幸福な作家ではぼくはありません。

丸谷才一「小説を批判された経験」『遊び時間』(一九六八)

* 役者子供 … 役者は芝居のことしか判らず、まるで子供のような世間知らずであるということ。

2.

青い部屋

- わたしは青い部屋のなかです
雨戸に叩き付けるのは雨の音でなく
気の狂^ふれたばあさんのわめき
くむすこをかえせ むすこをかえせと
- 5 わたしの壁にぶつかると
かたく雨戸をしめて
わたしは青い部屋のなかです
- 息子は帰って来ないのでしょうか
かくした女^{ひよ}は わたしではないのです
- 10 何故なら青い部屋はひとりしかはいれないから
ここはどこまでも青く
柩^{ひつろ}もなければ 隠^{かく}れもみあたらないのです
- むすこは青い色を好きでした
青い月をみつめているのが好きでした
- 15 いつのまにか青い月とむすこは
あいしあってしまったのです
けれども喉^{のど}がからからな夜
たまらなくてむすこは青い月をかじったのです
だからむすこの青い月はもうのぼりません
- 20 しらせてよこしたのは
タンポポが咲いたこと そして風が……
だからほんのすこし 雨戸をあけたのです
外には気の狂^ふれたばあさんが立っていたのです
わたしをみつめるために立っていたのです

25 わたしは青い部屋のなかです
昔 白い指でピアノたたいたその人は
わたしの雨戸を叩きます
〈むすこをかえせ むすこをかえせ〉

吉行理恵『青い部屋』（一九六三）

* 隠^{おんぼろ}亡… 戦後まで、火葬場において死者を焚^{たひ}毘に付して遺骨にする仕事に従事する作業員。現在は「火夫」とよばれている。

Marking notes
Remarques pour la notation
Notas para la corrección

Specimen

Japanese / Japonaise / Japonés A:
literature / littérature / literatura

Higher level
Niveau supérieur
Nivel superior

Paper / Épreuve / Prueba 1

General marking instructions

These notes to examiners are intended only as guidelines to assist marking. They are not offered as an exhaustive and fixed set of responses or approaches to which all answers must rigidly adhere.

Good ideas or angles not offered here should be acknowledged and rewarded as appropriate. Similarly, answers which do not include all the ideas or approaches suggested here should be rewarded appropriately.

Of course, some of the points listed will appear in weaker papers, but are unlikely to be developed.

Instructions générales pour la notation

Ces notes ne sont que simples lignes directrices pour aider les examinateurs lors de la notation. Elles ne peuvent en aucun cas être considérées ni comme un ensemble de réponses fixe et exhaustif, ni comme des approches de notations auxquelles les réponses doivent strictement correspondre.

Les idées ou angles valables qui n'ont pas été proposés ici doivent être reconnus et récompensés de manière appropriée.

De même, les réponses qui ne comprennent pas toutes les idées ou approches mentionnées ici doivent être récompensées de manière appropriée.

Naturellement, certains des points mentionnés apparaîtront dans les épreuves les moins bonnes mais n'y seront probablement pas développés.

Instrucciones generales para la corrección

El objetivo de estas notas para los examinadores es servir de directrices para ayudar en la corrección. Por lo tanto, no deben considerarse una colección de respuestas y enfoques fijos y detallados por la que deban regirse estrictamente todas las respuestas.

Los buenos enfoques e ideas que no se mencionen en las notas para la corrección deben recibir el reconocimiento y la valoración que les corresponda.

De igual manera, las respuestas que no incluyan todas las ideas o los enfoques que se sugieren en las notas deben valorarse en su justa medida.

Por supuesto, algunos de los puntos que se incluyen en las notas aparecerán en exámenes más flojos, pero probablemente no se habrán desarrollado.

1.

適当～良い文学論評は以下を含む

- 小説家としての筆者の視点を認識している。
- この文脈における筆者が語る批評家の機能を理解している。
- 構成について、例えば、全体の構成、各段落が短いこと、各段落の初めの接続詞の使い方など考察している。
- 音楽をメタファーとする中で、演奏家と批評家の関係を理解している。
- 語り口調について論じている。
- 出版時 1968 年には一般的ではなかった旧仮名遣いの使用について認識している。

優れた～非常に優れた文学論評は以下も含むと考えられる

- 筆者の語る小説家と批評家と読者の複雑な関係や役割について論じている。
 - 「作品は、読者の協力を得てはじめて完成するのです」が意味するところの重要性を理解している。
 - 「省略の連続」の解釈に説得力がある。
 - このエッセイの冒頭と結びのつながりについて述べている。
- 言葉遣いについてさらに言及している。例えば、フォーマルとインフォーマル、常体と敬体、疑問符、括弧、文末の「ね」などである。

2.

適当～良い文学論評は以下を含む

- 青い部屋をめぐる登場人物と文脈についての認識を示している。
- 息子は存在していないことに気づいている。
- 青い部屋の外にいる母親の言動の重要性について多少の解釈を述べている。
- 「青い部屋」、「青い色」、「青い月」に使われるシンボル「青」の反復とその効果について多少論じている。
- 詩の構成について分析し、その効果について多少考察している。
- 冒頭と最後の連の関係とその重要性について多少の解釈を述べている。

優れた～非常に優れた文学論評は以下も含むと考えられる

- 「わたし」「ばあさん」と「むすこ」という言葉の重要性と、この人たちは誰を意味するのかを深く論じている。
 - 登場人物間の個人的な関係の可能性を述べている。
 - 予想外の展開とイメージの連続の効果を考察している。例えば、「ばあさんのわめき」、「むすこは青い月をかじった」、「タンポポが咲いていた」、「わたしの雨戸を叩きます」などである。
 - 最後の連の読み方に説得力がある。
 - この詩は全体または一部においても多様な解釈ができることを理解している。
 - この詩の醸し出す雰囲気とその効果について論じている。例えば「気の狂れたばあさんのわめき」、「わたしの壁にぶつかる」、「かくした女」、「^{ひつぎ}枢」、「喉がからからな夜」、「^{おんぼろ}隠亡」、「白い指」などである。
-

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Specimen paper

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文^{エッセイ}を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 物語や小説における主要登場人物の身振りまたは動作は、しばしば重要な意味をもっています。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、主要登場人物の身振りまたは動作を分析しその重要性を論じなさい。
2. 物語や小説において、視点の設定はどのように行われていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
3. 物語や小説においては、時間の流れが重要な役割を果たす事があります。時間の流れは、作者によってどのように扱われどのような効果をあげているかを、**2つ**の作品を比較・対比しながら論じなさい。

随筆・評論

4. 随筆や評論において、人生に対する作者の考え方はどのように表現されていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
5. 「随筆や評論を書くためには、想像力は必要ない」という考え方があります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、この主張について考えるところを論じなさい。
6. 語調や文体は、随筆や評論においてどのような役割をもち、また、どのような効果をあげていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。

詩歌

7. 詩の中で使われている言葉やその表記方法は、詩人が意図的に選択したものです。少なくとも2つの作品から例をあげて、その意図と効果を比較・対比しなさい。
8. 詩人の生涯、または詩人が好んで用いる技法を知る事は、その詩人の作品を理解するうえで必要でしょうか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
9. 「詩は難解である」と考える人が多くいます。詩のもつどのような特色が、人々にこのような印象を与えていると考えますか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。

戯曲

10. 戯曲における脇役の重要性を、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
 11. 戯曲における沈黙は、ときには言葉よりも多くを語ると言われていています。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、沈黙が劇の展開にどのような効果を与えているかを論じなさい。
 12. 劇作家は、登場人物の過去の出来事をどのような方法を用いて、観客または読者に伝えようとしていますか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
-

Japanese A: literature – Standard level – Paper 1
Japonais A : littérature – Niveau moyen – Épreuve 1
Japonés A: literatura – Nivel medio – Prueba 1

Specimen Paper

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write a guided literary analysis on one passage only. In your answer you must address both of the guiding questions provided.
- The maximum mark for this examination paper is **[20 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez une analyse littéraire dirigée d'un seul des passages. Les deux questions d'orientation fournies doivent être traitées dans votre réponse.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[20 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un análisis literario guiado sobre un solo pasaje. Debe abordar las dos preguntas de orientación en su respuesta.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[20 puntos]**.

次の文章と詩のうち、どちらか一つを選び、設問に沿って分析し、解説文を書きなさい。
その際、一つある設問の両方に必ず答えること。

1.

私は神戸の西部、新しく山を開いた住宅地に住んでいる。したがって、わが家の下はすぐ岩である。乾いた「清潔」な岩がじつと地殻の奥まで続いているのかと思うと妙な気がする。〈中略〉

5 私はここに移り住んで三年目になるのだが、京都、東京、名古屋のそれぞれ三年目と比べると、家に三年分の馴染みが出来ていないことに気づく。〈中略〉

どうも欠けているのは匂いであるらしい。そういえば、ついこの間まではどの町でも訪問する家ごとに少しずつ違った独特の匂いがあった。しつとりと、あるいはひんやりと、あるいはじめっと、あるいはそれらの混合に一種のさわやかさに似たものが混じった古い日本家屋の匂い―それが欠けているのであろうと思いついた。

10 あの匂いは水洗便所の普及とともに薄まったと思っていた。だが、どうも汲み取り便所から来るものだけではなさそうである。あれは、その家その家にいりこんでいる茸やカビのたぐい、そしてそれの作るいろいろなものの匂いがベースになっているのではあるまいか。

15 カビや茸が家に付くのは建築上困ったことである。最近のマンションでもこれを防ぐのは難しいらしい。壁紙の裏などにべつたりカビがついている。廃屋になると、たちまちキノコが垂木^{たなぎ}やかま^まちに生える。ところが、この一帯だけか、あるいは神戸西部から瀬戸内の特徴なのかはまだ詳らかにしていないが、フロ場なども、しばらく窓を開けて置くと床のタイルまでさつと乾いてしまう。家の主は何十年来馴染みのミズムシを飼っているけれども、これは五代くらい前の棲み家で飼いだめたものだ。これ
20 を例外とすれば、最近出来の大きなビルの中でも微かに匂うのを感じるカビ・キノコの匂いがしないのである。

これは建築学的にはたいへん結構なことで、持主も建物の保守上歓迎しているのだけれども、それはカビや茸が建築だけでなく、生あるもの、形あるものを崩してゆくものだからで、こちらの都合としてさしあたりあまり活動してもらっては困るという
25 だけである。もともと、カビや茸が無かったら、生物の死骸や無住の家がそのまま残って無残なものだろうから長期的な問題としては別である。私としては、折角の家が今すぐ無に帰しては困るのでカビや茸を敬遠するだけのことである。

30 ここで思い当たったのだが、カビや茸の匂い―これからまとめて菌臭と言おう―は、家への馴染みを作る大きな要素だけでなく、一般にかなりの鎮静効果を持つのではない。すべてのカビ・キノコの匂いではないが、奥床しいと感じる家や森には気持ちを落ち着ける菌臭がそこはかとなく漂っているのではないか。それが精神に鎮静的にはたらくとすればなぜだろう。

35 菌臭は、死―分解の匂いである。それが、一種独特の気持ちを落ち着かせる、ひんやりとした、なつかしい、少し胸の広がるような感情を喚起するのは、われわれの心の隅に、死と分解というものをやさしく受け容れる準備のようなものがあるからのように思う。自分の帰ってゆく先のかそかな世界を予感させる匂いである。〈中略〉

40 菌臭の持つ死―分解への誘いは、腐葉土の中へふかふかと沈みこんでゆくことへの誘いといえそうである。こういう死の観念のない世界がいくらでもある。ロメオとジュリエットの墓は、収納ケースのたくさんある地下室である。カヴァアフィス³の詩に出てくる墓もジャスミンとバラあるいはスマイレに埋まる石室である。そこでは死体は乾いてミイラになるのであろうが、さらに砂漠の中での徹底的に乾燥した死となると、これは実にわれわれから遠い。旧約やイスラムの死とはそういうものだろうが、私などがあの苛烈な宗教に馴染めないとしたら、死にまつわる匂いのこの違いも一役買っているかもしれない。われわれの宗教は、逆に菌臭のただよう世界にしか安住できないのかもしれない。神道が、すでに、森の奥の空き地に石を一つ置いたものを拝むところから始まっている。樹脂と腐葉土の匂いの世界を聖としたのである。

中井久夫「きのこの匂いについて」『キノコの不思議』（一九八六）

¹ 垂木^{たるき}：屋根板を支えるため、棟から軒に渡した木

² かまち：床の端に渡す横木

³ カヴァアフィス：ギリシャの詩人

(a) この抜粋文における匂いの重要性について解説しなさい。

(b) この抜粋文における表現の特色とその効果について述べなさい。

2.

誕生日

- 五十歳の誕生日を
ぎっくり腰で寝て暮らした
外ではブルドーザーの音が響き
遠くで子供の声がする
- 5 時々犬が吠える
遠い世界
- 枕元に
一冊の新しい僕の詩集がある
友人や知己の
- 10 あたたかいことばにつつまれて
そこにかかるがると
僕の一生がある
- それがどんなにみじめで
それがどんなに心貧しくても
- 15 それは僕の一生なのだ
それ以外に僕の一生はない
だがいまは
そこにそれがあるだけでこころが重い
- こころが
- 20 ちりぢりにちらばり
世界の騒音のなかに
まぎれこんでいたら
そうしたら
どんなにせいせいすることが

- 25 武蔵野の雑木林を歩き疲れて
一本の酒と一碗のそばに
われを忘れる
そんな具合だったら
どんなにいいか
- 30 ぎっくり腰で寝ている誕生日

『定本黒田三郎詩集』所収『羊の歩み』（一九七一）

- (a) 詩人はどのような思いで自分の人生を見つめていますか。
- (b) この詩の表現上の工夫を指摘し、その効果を述べなさい。
-

Marking notes
Remarques pour la notation
Notas para la corrección

Specimen / Spécimen / Espécimen

**Japanese / Japonaise / Japonés A:
literature / littérature / literatura**

Standard level
Niveau moyen
Nivel medio

Paper / Épreuve / Prueba 1

General marking instructions

These notes to examiners are intended only as guidelines to assist marking. They are not offered as an exhaustive and fixed set of responses or approaches to which all answers must rigidly adhere.

Good ideas or angles not offered here should be acknowledged and rewarded as appropriate. Similarly, answers which do not include all the ideas or approaches suggested here should be rewarded appropriately.

Of course, some of the points listed will appear in weaker papers, but are unlikely to be developed.

Instructions générales pour la notation

Ces notes ne sont que simples lignes directrices pour aider les examinateurs lors de la notation. Elles ne peuvent en aucun cas être considérées ni comme un ensemble de réponses fixe et exhaustif, ni comme des approches de notations auxquelles les réponses doivent strictement correspondre.

Les idées ou angles valables qui n'ont pas été proposés ici doivent être reconnus et récompensés de manière appropriée.

De même, les réponses qui ne comprennent pas toutes les idées ou approches mentionnées ici doivent être récompensées de manière appropriée.

Naturellement, certains des points mentionnés apparaîtront dans les épreuves les moins bonnes mais n'y seront probablement pas développés.

Instrucciones generales para la corrección

El objetivo de estas notas para los examinadores es servir de directrices para ayudar en la corrección. Por lo tanto, no deben considerarse una colección de respuestas y enfoques fijos y detallados por la que deban regirse estrictamente todas las respuestas.

Los buenos enfoques e ideas que no se mencionen en las notas para la corrección deben recibir el reconocimiento y la valoración que les corresponda.

De igual manera, las respuestas que no incluyan todas las ideas o los enfoques que se sugieren en las notas deben valorarse en su justa medida.

Por supuesto, algunos de los puntos que se incluyen en las notas aparecerán en exámenes más flojos, pero probablemente no se habrán desarrollado.

1.

適当～良い文学分析は以下を含む

- ひんやりじめっとする独特の古い日本家屋の匂いの重要性について認識している。
- 匂いについての筆者の視点や態度について認識している。
- 最後の段落または結論についての考察を述べている。
- 構成について分析し、その効果を多少考察している。
- 語調について論じている。
- 五感に訴える要素の特徴について考察している。

優れた～非常に優れた文学分析は以下も含むと考えられる

- 匂いに対する筆者の視点や態度をより深く考察している。例えば、西洋式に変わってゆく中で喪失した日本文化のアイデンティティを思い、昔の日本を懐かしむなど。
- 「死一分解」に気づき、説得力のある解釈を述べている。
- 五感、特に嗅覚や視覚に訴える表現技法について詳細に論じている。
- 「神道」や「樹脂と腐葉土の匂いの世界を聖とした」などに言及し、結論を概念的に解釈している。

2.

適当～良い文学分析は以下を含む

- 50歳の誕生日を迎えた詩人がどのような思いで自分の人生を見つめているか述べている。
- 最後の行の意味するところを多少論じている。
- 5連でなる構成や形式がどのように意味を形成するかについて考察している。
- ムードに気づきコメントしている。
- 第3連の「それ」の繰り返しの効果によるリズム感など多少の効果を考察している。
- 「僕の一生」、「一冊」、「一本」、「一椀」など数字の1の繰り返しの効果について多少述べている。
- 「ぎっくり」、「かるがる」、「せいせい」などのオノマトペの効果について多少述べている。

優れた～非常に優れた文学分析は以下も含むと考えられる

- 詩人の本質についてより概念的な解釈を示している。例えば、詩人として必要な孤立と、その孤立を離れ俗世界に生きたい願望の中にいる詩人の人生が分かっている。
 - 「ブルドーザーの音」、「子供の声」、「犬が吠える」、「世界の騒音」など、肉体的、精神的、感情的な距離感や孤立感を表す表現の特徴について気づいており、その解釈に説得力がある。
 - 構成や形式についてより深く論じている。例えば、他の連とは異なる第3連は意味を形成するにあたり、どのような影響を与えているかなどである。
 - 哲学的な結論に達した最後の行または連についてより深く議論している。
-

Japanese A: literature – Standard level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau moyen – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel medio – Prueba 2

Specimen paper

1 hour 30 minutes / 1 heure 30 minutes / 1 hora 30 minutos

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la Parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文^{エッセイ}を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 物語や小説における主要登場人物の身振りまたは動作は、しばしば重要な意味をもっています。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、主要登場人物の身振りまたは動作を分析しその重要性を論じなさい。
2. 物語や小説において、視点の設定はどのように行われていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
3. 物語や小説においては、時間の流れが重要な役割を果たす事があります。時間の流れは、作者によってどのように扱われどのような効果をあげているかを、**2つ**の作品を比較・対比しながら論じなさい。

随筆・評論

4. 随筆や評論において、人生に対する作者の考え方はどのように表現されていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
5. 「随筆や評論を書くためには、想像力は必要ない」という考え方があります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、この主張について考えるところを論じなさい。
6. 語調や文体は、随筆や評論においてどのような役割をもち、また、どのような効果をあげていますか。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。

詩歌

7. 詩の中で使われている言葉やその表記方法は、詩人が意図的に選択したものです。少なくとも2つの作品から例をあげて、その意図と効果を比較・対比しなさい。
8. 詩人の生涯、または詩人が好んで用いる技法を知る事は、その詩人の作品を理解するうえで必要でしょうか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、考えるところを論じなさい。
9. 「詩は難解である」と考える人が多くいます。詩のもつどのような特色が、人々にこのような印象を与えていると考えますか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。

戯曲

10. 戯曲における脇役の重要性を、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
 11. 戯曲における沈黙は、ときには言葉よりも多くを語ると言われていています。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、沈黙が劇の展開にどのような効果を与えているかを論じなさい。
 12. 劇作家は、登場人物の過去の出来事をどのような方法を用いて、観客または読者に伝えようとしていますか。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
-